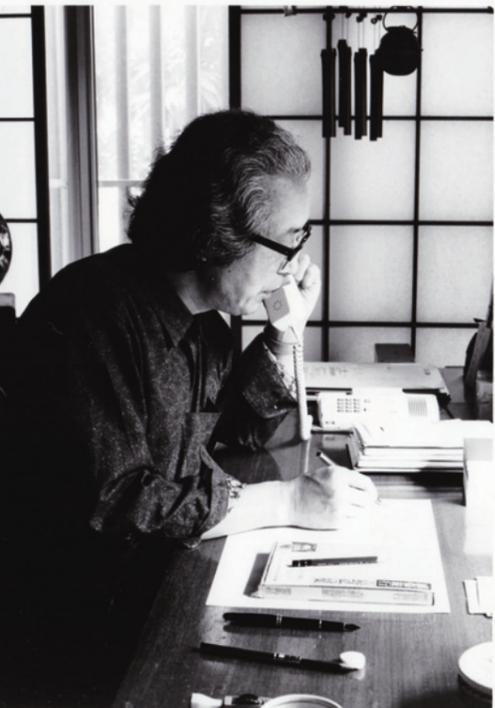


「吉野弘 遺作展」を開催します

会期 11月11日(金)～17日(木) 会場 市民交流センター



昭和62年 狭山の自宅書斎(遺族提供)

「二人が睦まじくいるためには 愚かであるほうがいい 立派すぎないほうがいい」で始まる詩「祝婚歌」。

結婚披露宴のスピーチでも多く引用されているこの詩を残した故・吉野弘氏は、現代日本を代表する詩人であり、その代表作の多くを狭山市で創作したことはあまり知られていません。

詩人として最も充実した35年間をこの地で過ごした吉野氏。その軌跡をたどる遺作展を開催します。

■詩人・吉野弘
大正15年1月、山形県酒田市に生まれた吉野氏は、26歳のときに現代詩を専門とする出版社の詩誌に、今では国語の教科書にも掲載されている「I was born」などの作品を投稿したのを機に、本格的に詩の世界に入ります。その後、昭和47年に46歳で全国紙の文学賞を受賞。その年に狭山市に居を構え、平成19年に静岡県富士市に移住するまでの35年間に、「祝婚歌」をはじめとする代表作の多くを創作しました。そして富士市に移住して7年後の26年1月に、87歳で他界した吉野氏。現在は、愛した狭山で永遠の眠りについています。

■狭山市での創作活動
吉野氏が狭山市に居を構えた昭和47年当時、北入曾の自宅付近には雑木林が点在し、また、書斎からは茶畑が一望できました。こうし

た環境の中から生まれた詩集「北入曾」の代表作である「茶の花おほえがき」は、後の狭山市長でこの遺作展の実行委員長でもある、仲川幸成氏との茶樹談義を詩にしたものです。

この詩が縁となり、吉野氏は、昭和58年から平成8年までの14年間にわたり、狭山市立中央図書館が刊行する「文芸狭山」の編集委員を担当するとともに、入間野中学校の校歌を作詞するなど、狭山市の文化行政にも非常に多くの功績を残されています。そして、平成7年に県の依頼で作詞した合唱曲「ケヤキ賛歌」は、彩の国県民芸術文化祭で演奏され、吉野氏も10年に、埼

玉文化賞を受賞されるなど、戦後の現代詩人を代表する一人として多方面で活躍されました。

吉野氏の作品は、何気ない日常の出来事や、自然の移り変わりをテーマに、平易な言葉を用いて語りかけるような文体で綴られているのが特徴です。遺作展では、ご遺族の協力により、著書や書画、遺品など多くの貴重な資料を展示します。この機会にぜひ吉野氏の魅力に触れてみてください。

問合せ中央公民館内吉野弘遺作展実行委員会事務局へ ☎2952・2230
著作展は中央図書館へ ☎2954・4646

『吉野弘遺作展』

日時11月11日(金)～17日(木)、9時30分～17時 場所 市民交流センター 内容 書籍類、直筆の色紙や楽譜、書斎机の再現品など約180点

【期間内の主なイベント】

◆講演会「吉野弘がつたえたかったこと」
日時11月12日(土)、13時30分～15時 講師 和合亮一氏(高校教師・詩人)

◆「歌と朗読にのせてー吉野弘の詩ー」
日時11月13日(日)、13時30分～15時30分 内容 / 合唱自身が作詞した入間野中学校校歌など
朗読「詩で綴る吉野弘の生涯」
共通事項/場所中央公民館 定員100名
申込み10月17日(月)から同館へ ☎2952・2230

『吉野弘著作展』(同時開催)

日時11月2日(水)～29日(火)、9時～17時(23日を除く水・金・土曜日は20時まで。月曜日は休館)
場所 中央図書館



常緑の松に
赤い野点傘が映える
風流な茶の世界

「さやま大茶会」は、芝の緑が鮮やかな県営狭山稲荷山公園に多くの茶席が並ぶ野点の茶会です。平成元年に県が開催した「国民文化祭さいたま大茶会」をきっかけに、翌2年から「一碗からふれあいを」をテーマに、毎年行われています。

茶会で使用するお茶は、狭山で育まれた抹茶「明松」と玉露「伊利麻路」で、当日早朝に汲んだ狭山市の友好交流都市・新潟県津南町の名水「竜ヶ窪の水」が、味を引き立てます。

会場では、各流派による茶席以外にも、手揉み茶の実演や抹茶・せん茶の販売、邦楽演奏、生け花、俳句の作品展示、和菓子や津南町の



《平成28年10月号の表紙》
秋の風物詩「さやま大茶会」を
お楽しみください



手もみ茶の実演

物産販売など盛りだくさんの催しでおもてなしします。

野点の茶会は、服装や形式にとらわれないこと、どなたでも気軽に茶席に参加することも魅力の一つです。澄み渡る秋空のもと、さわやかな風を感じながら、茶の香りと邦楽の音色に包まれる、ゆったりとした秋の一日を、どうぞお楽しみください。

【参加流派】
■抹茶
① 慈風クラブ(裏千家) ② 村柴仙恵(大日本茶道学会) ③ 後藤智芳(雲伝心道流茶道) ④ 平塚宗藤(裏千家) ⑤ 杜の風男子(表千家) ⑥ 狭山ヶ丘高等学校付属中学校茶道部(裏千家) ⑦ 小坂宗優(宗編流) ⑧ 神永宗真(裏千家) ⑨ 狭山台中学校茶道部(裏千家) ⑩ 西武学園文理高等学校茶道講習会(裏千家) ⑪ 高戸宗芳(松尾流) ⑫ 田部井宗舟(表千家) ⑬ 竹内宗和(裏千家) ⑭ 狭山経済高等学校・ひめしやら表千家茶道部(表千家)

▼せん茶
④ 村田静任(松風流)



【開催概要】
日時11月13日(日)、10時～15時(雨天決行) 場所 狭山稲荷山公園 参加流派 15席 費用 1席500円(前売り券を市役所5階社会教育課内さやま大茶会実行委員会事務局で販売中。当日券は本部テントで販売) ※駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

問合せ 社会教育課内さやま大茶会実行委員会事務局へ 内線 5673

平成28年10月号のもくじ

3ページ	「吉野弘遺作展」を開催します	15ページ	情報ガイド、市民のイベント
4ページ	特集「平成27年度決算状況」	28ページ	保健センター 11月のお知らせ
8ページ	保育所(園)・幼稚園などの入所(園)申し込み	29ページ	11月の相談案内
10ページ	学童保育室の入室希望者を募集	30ページ	残しておきたい狭山の風景、もぐもぐsayama、Myなでしこ ちふれASエルフェン埼玉、今月の写真クイズ、今月の納期、目で見るとさやま
11ページ	まちの今...これから、市長が走る		
12ページ	ひと・まち・写真館、さやまりポート、さやまの教育・元気なさやまっ子・語学指導助手		
14ページ	いきいき自治会、Zoom up どうぶつ園、市民リレー「私の宝物」、ハロー仲間たち		

今月の市内同時配布物
社協だより「ふれあい」、赤い羽根共同募金運動